【高等学校用】

令和6年度学校評価 計画

学校名	佐賀里立唐津商業高等学校定時

達成度(評価)

- A: 十分達成できている B: おおむね達成できている C: やや不十分である

- D: 不十分である

4 本年度の重点目標

前年度 評価結果の概要 ・全教科において学習指導を見直し、生徒が理解しやすい授業の実践に努めた。今後も実践を継続し、生徒にとって進路選択の幅を広げることができる学習環境を整えていきたい。 商業教育の充実については、商業科において展開授業や個別指導等のきめ細かな指導を実施することができ、検定合格状況も良好であった。引き続き、生徒の実態に即した指導に取り組んでいきたい。 ・学校行事において、生徒が自己有用感を感じることができる活動を取り入れることで、自己理解・自己管理能力の育成に努めた。キャリア教育の充実については、おおむね目標を達成できた。地域と連携した活動については課題があるので、今後も検討を継続する。

SAGAスクール・ミッション 学校教育目標

【全定共通学校目標】幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する 【定時制学校目標】北部地区唯一の商業科定時制高校として、生徒のニーズに対応したビジネス教育を通して、幅広い知識と教養を身に付け、唐津地 区・県・国の発展に貢献できる人材を育成する。

アドミッション・ポ<u>リシー</u> カリキュラム・ポリシー グラデュエーション・ポリシー (1) 様々な経済活動で低に立つ確かな知識や技能を与に付け、活用できる実践かき向にます。
② 課題解決に必要な情報収集能力と情報分析能力を育成します。
③ 自らの潜化と世の中の動きを正確に理解し、自ら判断して行動する力を育成します。
④ 自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる遺徳心を養成します。 3 スクール・ポリシー

5 重点取組內容・成果指標				中間評価 最終評価					
						主な担当者			
		具体的取組			W-0-4				10211
取組内容	(數值目標)		進沙 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○基礎的な文字力・計算力の定着	○文字カテスト、計算カテストを年間各7回実施(前期4回、後期3回) ・文字カテスト 昨年度は約70%だった正答率 を、今年度は75%以上を目標に取り組む。	版や文章の中で適切に使う他から有成する。 計算力学ストについては個別指導も含め、金字本、基礎的数学技能を身に付けられるように指導する。 今年度は5年度日間様に展目に実施時間を投充し、金字本が一つの数重に集合して受験する。また、計画的な学習習慣の定着を目指す。		•					
●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自然とあいさつを交わせる生徒80%以上	・登下校や学校生活の中で、教員側から挨拶や 声掛けを積極的に行うことで人とのふれあいの 楽しさを伝え、生徒間に浸透させる。							
●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組 の充実	〇いじめの防止への取り組みについて組織的 に対応できていると回答する職員90%以上	する。		•		•		•	
●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」生徒70%以上	・献立表・食育だよりを発行し、食習慣の大切さ について積極的に情報を提供する。 ・教料担当者と連携して、食と健康に関する内 容を取り扱い、指導する。							
●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間 の上限(1ヶ月80時間以下)の遵守	・学校閉庁日を設定する。 ・出退勤管理システムを定期的に点検し、定時 出退勤を呼びかける。							
●特別支援教育に関する教員の意識の向上	〇教員によるオンライン授業のためのTeamsへの100%参加			•		•		•	
独自評価項目							l.		
重点取組		E + Marion	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組内容	成果指標(數值目標)	具体的取租	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★実践的・体験的な活動の充実と県内外への 情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生 徒の割合80%以上、教職員の割合100%以上	・地域・企業等と連携した学校運営を行う。 ・学校ホームページ等を活用し、学校の魅力を積極 的に発信する。 ・受検生向け説明会において広報活動に努める。		•		•		•	
◎職業観・勤労観の育成○キャリア教育の充実と希望進路の実現	○アルバイトの就労率70%以上 ○アルバイト先の訪問を実施し、責任者との情報交換を 行う。また、生徒の働いている状況等について観察す る。 ○卒業予定者の希望進路決定率100%	・アルバイトを奨励しつつ、学業を優先した教育を行う。 ・生徒・保護者・学校の情報共有を密にし生徒の指導に 生かす。 ・1~3年生についてはキャリア・バスポート活用の充実を 目指す。		•		•			
				•		•			
					東美権権	放掘内部	現金財産	大阪内内管	

総合評価・ 次年度への展望